

野良のかぜ 街のかぜ

2012年
平成24年
12月議会

横山秀男の市政報告

●発行者：日高市議会議員 横山秀男 ●連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台1-11-1 ●電話・FAX：042-982-0369
 メール：k-yoko@a2.so-net.ne.jp ブログ：http://d.katera.ne.jp/hideoyok/

3月議会（第1回）で一般質問。新年度予算と長期的課題に関わる内容で、市が提出した議案についても質疑を行いました。

★環境基本計画の推進について

- (1) 計画の意義について
- (2) 策定後2年間の計画の推進・進行と評価について
- (3) 計画の対象事業について
- (4) ごみ減量化対策との連携について
- (5) 今後の計画推進と成果の公表について
- (6) 計画推進における市民参加について

★武蔵高萩駅北土地区画整理事業について

- (1) 平成30年度まで延長する理由は何か
- (2) 施策と事務事業の評価について
- (3) 現在までの投入財源の内訳について
- (4) 事業延長の財政的裏付けは。
- (5) 保留地の売却が進まない理由は何か。
- (6) 道路の完成率が低い理由は何か。
- (7) 「生活環境向上を」の住民の声は届いているか。
- (8) 今後の工程開示と進捗状況の情報提供について

★市街地交流軸と人の流れについて

- (1) 日高市の交流軸と人の流れについて
- (2) 高麗川駅周辺の人の流れと交流軸について
- (3) 日高陸橋とその歩道の改善に向けて、県へどのように働きかけているのか。
- (4) 県道川越日高線の市街地交流軸の確立の方策は。

★行政改革によるPDCAサイクルについて

- (1) 行政評価書をどのように「評価」しているのか。
- (2) 予算編成に行政評価はどう役に立ったのか。
- (3) 事業別予算における分かりやすい内訳の公表について

日高市の自然環境・生活環境はだいじょうぶか。環境を守る計画の実行を質す。

127億円投入、高萩駅北 区画整理事業6年間延長はなぜか。環境改善、早期完了を迫る。

市街地交流と人の流れを阻害する日高陸橋の周辺歩道整備とバリアフリー化を問う。

ムダ削減に役立つ行政改革が徹底追及！！

3月議会質問

★ごみ減量化事業で何よりも大切なことは、市民と行政による協働の成功体験をつくることであると思うが、市はどう考えているか。

平成24年12月議会の一般質問はこの5テーマでした。市の組織上の管轄から言うと、最初の3テーマが市民生活部関係で後の2つが上・下水道部関係です。

- ◆平成24年12月議会、次の5テーマについて一般質問
- ◎ごみ減量化事業について
- ◎清流保全対策事業について
- ◎耕作放棄地活用事業について
- ◎下水道事業に関する会計検査院検査
- ◎コンピュータの下水道移管について

★「広報ひだか」9月号で、市

「ごみ減量化事業について」と「清流保全対策事業について」は、前号でお知らせしたように、市は25年度に重点的の事業として推進することを決定しました。

ごみ減量化については具体的な目標を掲げての大きな意気込みでの対策です。問題は、これをどう進めるかです。

◆質問の一部抜粋
(1) 推進方法及び今後の位置付けは

長が市民全体に向けての推進宣言、10月号では、10%以上削減、混入リサイクル資源5パーセント以下という具体的目標を掲げ、11月号では、集団資源回収報償金を7円↓県内トップレベル10円への引き上げ。いずれも画期的と言えるほどの目標である。

そして12月号で新しい減量・分別ガイドブックを全戸配布しました。減量化に焦点を当てた編集で実に見易く分かり易い。

★昨年の議員就任以降、私は3回にわたる議会一般質問を通じて有料化政策の転換を主張してきましたが、この減量化作戦を高く評価し全面的にバックアップしたい。

★そこで、推進方法及び今後について3点うかがいたい。

A. 大目標は掲げられたわけだが、今後どのような方法で目標を押し上げていくのか。

B. 広報ひだかに「ごみ有料化は皆さんの行動で決まる」とあったが、「やるかやらないか、のシンブルな問題」を言おうとしたのだろうか、市民と行政の協働の重要性を改めて強調したい。

そして何よりも大切なこと

は、有料化をちらつかせながらの減量化ではなく、市民と行政の協力の成功体験を作ることだと思うがどうか。

C. 期間については、広報ひだか10月号で25年度で見極め有料化の判断をする、としている。また廃棄物減量等推進審議会では、1年半ほどで様子を見たい、としている。有料化との関連で、減量化実施の期間をどう見ているか。

◆質問の一部抜粋
(1) 戸別訪問の成果と見通し及び今後の位置付けは

★9月議会の開会挨拶で、市長は、高麗川流域の25区、約2500世帯への合併浄化槽への転換と適正な維持管理の促進のため、職員の戸別訪問を実施すると発表した。

★この問題も継続して質してきた私としては、今までの対策の停滞、手詰まり状態を打開したいという市当局の意志を評価したい。効果がすぐ現れない見えない事業だが、清流と生活環境維持のため極めて重要である。

◆質問の一部抜粋
★耕作放棄地活用促進事業は毎年、市の農林水産業費として計上されているが、実予算

★現状の進捗と今後の方策を伺いたい。

平成24年度重点施策の耕作放棄地活用促進事業について

◆質問の意図
★平成24年度耕作放棄地解消施策予算19万1000円。

この金額は事務的な経費で事業予算ではありません。耕作放棄地対策事業は姿の見えない「ステルスの」事業ともいうもので、実態を掴むのに非常に難しさがあります。

「国↓県↓市町村(日高市)」というように巨額の税金が流れてくるのだが、事業は日高市で実施されても市に実予算は付かず人件費を出すのみで県の実績となります。税金投入の仕組みも複雑で名目的組織を流れていくところにこの国家事業の問題性があります。

市議としてはその構造を念頭に置きながら、日高市での事業で発生した事件を材料に「市民のためになっているか」を追及しました。

**武蔵台区と久保区の境の長年の懸案解決！
久保交差点〜武蔵台病院前〜汚水処理場前
の舗装改修。市道幹線整備が完了しました。**



武蔵台には市道幹線 61号、市道幹線 56号の2本の市道幹線道路が走っています。久保交差点から横手台に至る道路は、日高市道路認定網図にある 1156、1206、1201の3本の補助幹線がつながった形です。武蔵台のメイン道路は 61号だったが、56号と3つの補助幹線をつなげた市道がメインです。武蔵台・横手台から日高市中央部に行く道路であり、秩父方面と飯能・名栗方面のショートカットです。

道路管理上も補助幹線でありながらこの市道が重要道路として認識されています。当然、車の往来が多い。武蔵台建設以来、本格的な改修は実施されずデコボコで、バウンドの危険や福祉車両の安全への対策が必要でした。しかし区の境であり区長要望以上の規模の案件でもあることなどから手付かずでした。この経緯を踏まえて私は「久保交差点から武蔵台病院前に至る市道改善についての御提案」を平成24年2月に提出、改修を訴えてきました。今回、改修が実現し喜ばしく思っております。

<http://d.hatena.ne.jp/hideoyok/20120215/p1>

はゼロで人件費が投入される農水省事業。農地の有り様、景観、環境等、地域への影響も大きい。執行の体制は県と市及び農業団体が関わる仕組みで複雑。実例でこの問題を取り上げたい。

(1) 実施された集積事業はどのような経緯か

★これは、女影地内5・8ヘクタールの水田を整地する事業。28軒の農家が県農林公社に無料で土地を貸し、公社がそれを一括で事業者に貸し出した。

★この事業は、平成21年度から実施されている農林水産省の「耕作放棄地再生利用緊急対策」。農水省の埼玉県分交付金は県の耕作放棄地対策協議会で基金化され、市の対策協議会に入り、そこから仕事と役割に応じ交付される仕組みである。事業の推進役、事業施行主体、交付金の流れなど、県と市が介在しつづつも別ルートがあり分りにくい。

★以上の構図の中で、日高市産業振興課長は日高市の耕作放棄地対策協議会の会長に就任しているが、市としては事業経緯の中でどんな役割を果

たしたのか。また、農業委員会はどのように関わったのか。
★この事業の開始は平成21年7月。説明会は9月に行われているが、出席者によると、資料もなく非常に契約を急がされた印象だけが強いという声が多くある。実際の経緯はどうだったか。交付金は、協議会、埼玉県農林公社、事業者等に、どのように交付・配分されたのか。農家の賃料はゼロと聞いているがなぜか。

(3) 事業において発生した悪臭、汚水について、法令遵守、地域共生の観点からどのように考えているのか

★事業者は、農地の賃料ゼロで県農林公社から整地された農地を一括して借り受け、さらに土壌改良交付金が交付される。その事業者が土壌改良に着手したが、汚物の表面散布による悪臭とハエの大発生で住民から抗議を受け、さらにチップの埋め立てによる汚水が川を汚染させた。

★汚水そのものは、事業者による水質検査および私が独自に行った水質検査でもBOD、CODが極端に高く住民による生物調査ではメダカ3匹は

1時間後に死んだ。行政側は法令違反なしとしているが原因はヤブの中である。事実としては、5000立米のチップ投入・埋め立ては、県が想定・指導したことはないこと、また三分の一が出所不明のチップであったこと。

★税金が投入される事業者のこのような行為を市はどう考え、事業者に対してどのような対策を行ったか。

(4) 発生した悪臭、汚水の解決策は何か

★川の汚染が4月で稲作着手の寸前だった。作付けを控え

TPPの行方と温暖化によって農業の未来は全く不透明。国の大規模化政策だけでなく、市民の食と健康及び福祉に貢献するための農業が必要だ。

たり収穫への汚染の影響を心配する声が多々あった。対策はどうか。

★汚染は川の浄化作用によって表面的には問題ないようである。これを機会に地域では景観と環境を守りつつ水田環境を活かそうという機運も生まれている。住民のこういう動きに対し今後の対応をどう考えているか。

(5) 水田の集積化を日高市に適用することについて

★3点伺う。第1点目。国の予算・事業ありきの発想で、条件が揃えば執行という安易さと更に地域条件、適地適作に合致しないムリもあり、当該事業者による汚染発生にもつながったとみるがいかがか。
★水田の集積化は、20〜30ヘクタールへの大規模化を目指す農水省の至上課題であるが思惑通り進んでいない。

★平成21年度の耕作放棄地対策再生利用交付金、日高市事業はこの対象であった。22年度の農地利用集積円滑化事業、日高市はこの円滑化団体となっている。23年度は農業者戸別

所得補償制度の規模拡大加算、そしていま24年度から始まった人・農地プラン。

★そこで二つ目。耕作適地が少ない日高市で20〜30ヘクタールへの水田の規模拡大がどれほど必要な政策だと言えるのか。見解を伺いたい。

★第3点目。対象となった水田は生物相が非常に豊か。里山・里川は市民が望ましいとする生活条件に貢献している。この観点からどう考えるか。

(6) 地域で自立した農政の創造について、市の考え方は

★日高市が積極的に進めようとしている耕作放棄地の集積事業は、日高市の多数を占める中小兼業農家が対象ではない。これら国事業の目的は、中小農業をつぶし、白紙委任をもって大規模化政策を拡大させること。T P Pの行方と温暖化によって農業の未来は全く不透明。市民の食と健康及び福祉に貢献するための、日高市の条件を熟慮した農政が必要と思うが、市としてはどう考えるか。

下水道事業に関する会計検査院検査

2. 上・下水道部関係

◆質問の一部抜粋

(1) 日高市下水道事業計画に對しての指摘の内容は何か

★会計検査院による全国の下水道施設60ヶ所の稼働状況調査によると、人口増加予想と長期的見通しのずれによるムダがあるという。会計検査院では下水道事業への補助金を管理している国土交通省に2点の改善要求を行った。

- A. 用地の過大
- B. 処理場施設と能力の過大

★日高市に関して会計検査院改善要求に合致することはあるのか。あるとすれば、下水道計画にどんな影響を及ぼし、その対策はどのようなものか。人口減少時代のトレンドに適合させていくという観点から日高市の下水道を眺めた時、いま直面しているのは今後課題となる大テーマは何なのか、市民も共通の認識として持たなければならぬ。箇条でそれを挙げていただきたい。

(2) 武蔵台及び横手台コミュニティ・プラントの公共下水道事業への移管について

★公共下水道移管の認可が下りていないのは不明水の存在である。その原因説明はどこまで進み認可予定はどうか。

★不明水説明と認可の関係に新しい状況が加わった。下水道の長寿命化である。これは国交省が平成20年度に策定した下水道長寿命化支援制度。市町村は施設と管渠を長く持たせるための計画を作ることが必要で、平成25年度以降は国庫補助の前提となる。長寿命化計画がどう関与し認可との関連はどうなっているのか。

(3) 工期4カ月で開始された工事の目的は

★移管スケジュールと不明水との関連で言えばどういう意義の工事であるのか。単なる告知ではなく、全体の大きな流れの中での見取り図的な説明は必要なのではないか。

(4) 受益者負担金の減免に関する問題は

★第1点目。公共下水道に接続する際の受益者負担金については、平成23年8月の移管

協定書にも触れられていない。負担金発生時の根拠は、「日高市川越都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例」であるが、これを根拠として減免を新たに文書で交わすべきではないか。負担金の発生に不安を持つ住民もいる。

★第2点目。自治会に入っていない住民もいるが、減免も含めて協定内容の適用についてどうなっているのか。

★武蔵台、横手台両地域の住民は4月より新料金に移行した。地域限定的公共から日高市共通の公共に入ることによって嫌が上でも、公共のコスト負担の大きさを知ることとなった。今後の公共工事の行方に関心を持つことは、住民・市民としては当然かつ健全なこと。それに応えるための必要十分な説明は必要欠かせないと思うがいかがか。

編集後記

12月議会報告と3月議会質問をお届けします。掲載したのは質問の解説と一部抜粋のみです。実際の市とのやりとりは、市のホームページや議会議事録でお読みください。またご感想やご意見をお寄せください。横山秀男